

大使館からのお知らせ

【感染症情報】 当地新聞より“チクングニア熱”に関する情報をお届けいたします。

“チクングニア熱”は、チクングニアウイルスによる感染症で、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊に刺されることで感染します。主な症状は、発熱、関節痛、発疹などで、関節痛は数週間から数ヶ月にわたって続く場合があります。アジア、アフリカおよび中南米の熱帯・亜熱帯地域で発生しており、ワクチンや予防薬はないため、蚊にさされないように注意が必要です。

ラ・ナシオン紙（12月6日付5面及び9日付）

2日、プンタレナス県プンタレナス市コスタデパハロス地区において、27歳の女性がチクングニア熱に感染していると確認された。この女性は、海外でチクングニア熱に感染した患者との接触等はなく、コスタリカ国内で感染した1例目となった。

プンタレナス市コスタデパハロス地区においては85人、プンタレナス市チョメス地区においては100人以上が感染の疑いがあるとみられている。これらの地域では、最近2週間の間にチクングニア熱の感染疑い例が急増しており、厚生省は注意を促している。

【生活情報】 出国税システムに関する情報をお届けいたします。

12月3日、コスタリカ政府により出国税の航空運賃への加算制度が承認されました。

これに伴い、これまで空港の専用カウンターで支払われていた出国税（29米ドル）が、今後は航空券代金に含まれるようになります。

ただし、導入時期は各航空会社の判断にゆだねられており、政府は今後1年間を目安に順次移行する予定としています。

例えば、ユナイテッド航空などは、2015年の7-9月頃の導入を検討していると伝えられています。

詳細は、各航空会社に直接お問い合わせ願います。

【治安情報】 当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「サンホセ市内で18歳の男性、銃で撃たれ死亡」

11月2日（日）午後8時5分、サンホセ県サンホセ市パソアンチョ地区において、18歳の男性がバイクで走行中、近づいてきた車から銃で撃たれ死亡した。

「クリダバ市内で46歳の男性、刃物で刺され死亡」

11月14日（金）午後5時15分、サンホセ県クリダバ市ティラシス地区において、46歳の男性が刃物で刺され死亡した。駆けつけた警察により19歳の男性が逮捕された。

「リモン市内で強盗」

11月12日（水）午後10時、リモン県リモン市内の民家において、買い物から帰宅した男性検事の家族を3人組の強盗が襲い、現金、パソコンなどを窃取した上、被害者の車を強奪して逃走した。犯人3人のうち1人は逮捕されたが、残る2人は逃走した。

「デサンパラードス市内で女性の死体発見」

11月15日（土）午前2時、サンホセ県デサンパラードス市ロスギード地区において、女性の死体が発見された。死体は、銃で胸部や腹部を4発撃たれていた。

「デサンパラードス市内で23歳の男性死亡、28歳の男性負傷」

11月15日（土）午後8時頃、サンホセ県デサンパラードス市カジェファジャス地区において、23歳と28歳の2人の男性が何者かに銃で撃たれた。23歳の男性は、腹部、腕、背中を計4発撃たれて死亡した。28歳の男性は、背中を1発撃たれて重体となり、病院へ搬送された。両人の間に友人関係はなく、殺害現場は麻薬の密売が行われている地域であることから、縄張り争いに巻き込まれて殺害されたものとみられている。

「サンホセ市内で25歳男性死亡、22歳男性負傷」

11月15日（土）午後9時頃、サンホセ県サンホセ市サンセバスティアン地区において、25歳と22歳の2人の男性が路上に座って話していたところ、バイクに乗った2人組の男が近づき、銃で2人を撃って逃走した。25歳の男性は、頭部を2発撃たれてその場で死亡した。22歳の男性は、左膝を2発撃たれて負傷し、病院へ搬送された。

「リモン市内で19歳の男性、銃で撃たれ死亡」

11月20日（木）午後8時、リモン県リモン市において、19歳の男性が何者かに銃で撃たれて死亡した。男性は、不法な銃所持などの前科があり、頭部に覆面を被された状態で発見されたことから、犯罪絡みで殺害されたものとみられている。

「サンホセ市セントロ地区で宝くじ売りの男性が強盗被害」

11月26日（水）午後3時、サンホセ県サンホセ市セントロ地区子ども病院付近で宝くじ売りの男性が2人組の強盗に襲われ鞆を奪われた。その際、宝くじ売りの男性を警護しているボディーガードが犯人に向けて発砲し、犯人のうち1人がその場で死亡、もう1人は搬送された病院で死亡した。発砲したボディーガードは正当防衛が認められる。

「コロドーレス市内で24歳の男性の死体発見」

11月28日（金）、プンタレナス県コロドーレス市において、24歳男性の死体が発見された。死体は、手足を縛られ、銃で数発撃たれており、犯罪絡みで殺害されたものとみられている。

「アラフェリータ市内で38歳の男性、銃で撃たれ死亡」

11月29日（土）午前0時50分、サンホセ県アラフェリータ市において、38歳のニカラグア人男性が強盗に襲われ携帯電話を奪われそうになり抵抗したところ、銃で撃たれて死亡した。

「コロドーレス市内で元警察官の男性、銃で撃たれ死亡」

11月29日（土）午後6時、プンタレナス県コロドーレス市パソカノアス地区において、53歳の元公安警察官の男性が2人組の男に襲われ、顔面を3発、胸部を3発、合計6発の銃弾を受けて死亡した。

「11月の国内での死亡者数、過去7年間で最多」

赤十字が発表した統計によると、11月の国内での死亡者数は115名であり、過去7年間で最多となった。内訳は、殺人事件での死亡者が41名、交通事故による死亡者が38名、その他の事故（溺死や不審死など）による死亡者が36名であった。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで